

岡部 典孝 (JPYC株式会社)

～青ヶ島の水産資源×NFT+Web3=ブルーエコノミー3.0～

○高級魚や未利用魚の商品化、商品の購入権をNFT化し、世界をマーケットとしたビジネスを展開するとともに海業のDXを推進。

基本情報

- 事業実施地域：
東京都青ヶ島村
- 経歴等：
 - ・連続起業家であり日本円建てのステーブルコイン「JPYC」を発行する事業を実施。情報経営イノベーション専門職大学の客員教授も務める中で青ヶ島に移住し、漁師見習い、一級船舶免許も取得。
- 主力商品・イベント：
 - ・青ヶ島の水産物を加工・販売
- 活用した支援施策：
 - ・なし



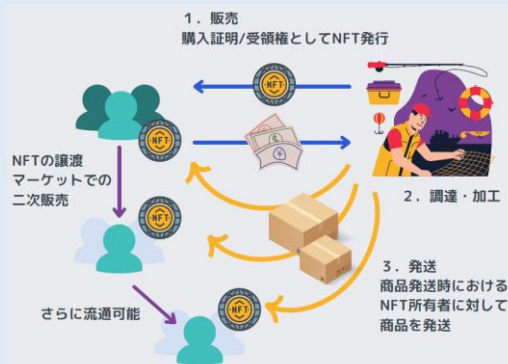
事業を始めたきっかけ

- 青ヶ島の主要産業は、ひんぎゃの塩、青鮓、観光などだが、周辺漁場ではタイ、ムツ、マグロなどの高級魚が豊富。しかし、貴重な水産資源を活かしていないこと、漁業を職業としている者がいない（兼業のみ）、輸送コストが高く不安定（本土への輸送ルートが八丈島のみ）という課題があることから、ビジネスを着想。

取組の概要

- ①漁業の活性化、②水産加工会社の設立、③NFTを活用した直販を行う。
- 販路拡大に当たっては、村議会や漁協とも連携しつつ、人気YouTubeチャンネルも活用。
- 未利用魚を加工（ペットのおやつや子どものおやつ等）することによって、長期保存を可能とするとともに、輸送コストを削減。
- 販売に当たっては、ブロックチェーン技術を活用することによって、生産者にとっては、直販ルートを確認、最初に代金受領をできる、購入者にとっては直販により高品質・低コスト、権利の譲渡による二次販売ができる等のメリットがある。

ビジネスモデル



事業目標

- ・青ヶ島の漁業従事者15名、漁業生産額1億円を目指す。
- ・5年後の年商3億円、島民の増加15人

求める支援、協業先等

- ・販売ルートの開拓
- ・青ヶ島の移住

ウェブサイト▶<https://jpyc.co.jp/>